



大河原 千晶 議員



Chiaki Okawara

11 子育て世代をとりまく環境の整備について

▶お丸山公園と荒川水辺公園を中心に充実

Q 喜連川地区にも氏家ゆうゆうパークのような公園が必要では。

A 21か所の都市公園のうち氏家地区は19か所、喜連川地区は2か所。喜連川地区については、お丸山公園や荒川水辺公園を中心に、公園機能を持つスペースの大幅拡大を含めて魅力的な空間の創出を図っていく。

Q お丸山公園の整備はどんな内容がワーキンググループで話されているのか。

A スカイツアーを利用したバンジージャンプ、壁を利用したロッククライミング、プロジェクションマッピング、足湯、各種イベント的なもの。子どもたちの遊具等を設置してほしいという意見も出ている。



住民協働で運営される世田谷区のプレーパーク (写真提供:認定NPO法人せたがやプレーパーク)

9 公共交通について

Q 通院コンタ号の終了時間が現行だと、午後の診療時間に間に合わないという利用者の声があるが、延長することはできないか。

A 最終便の運行時間延長を含めた時刻表の変更を可能な限り早急に対応する。

3 コロナウイルス感染拡大防止による各施設の縮小状況について

Q 道の駅きつれがわ、もとゆの営業時間は今後戻るのか。

A コロナ禍の消毒作業による労働時間の増加、原油価格等の高騰による経営状況から時短営業を継続している。道の駅きつれがわについては、30分延長し21時30分までに調整をしている。

Q 総合公園プールの休止理由は。

A 更衣室が密閉された空間であり、雷等で利用者が避難すると、体が押し合うほど混雑する状況になるため。

Q コロナで閉場している今、相当な修繕費をかけるより、プール最適化計画に考え方をシフトしては。

A 幅広い年齢層で楽しめるプール整備、小中学校を含めたプールの集約化、統廃合を検討している。計画策定に向け、今後も調査研究を進めていく。



リニューアルした道の駅きつれがわ温泉施設



笹沼 昭司 議員



Shoji Sasanuma

11 所有者不存在の危険家屋の除却について

▶空き家等に関する相談体制の整備や施策推進を図る

Q 課税の取扱い、市の財産管理人専任の申し立てによる解体や処分は。

A 課税は保留している。市が財産管理人になるには、債権を有することや対象が特定空き家であることなどの要件が必要で、現在は認定できる事例はないが、空き家等に関する相談体制の整備や施策推進を図っていく。



空き家と空き地

3 無縁墓について

Q 身寄りのない方が亡くなった場合の対応と市営墓地の無縁墓と墓地返還の状況は。

A 墓地埋葬等に関する法律に従い、市営墓地の市有区画へ埋葬する。市営墓地に無縁墓はない。

Q 桜野墓地、箱森霊園の墓地の返還後の再整備と販売は。

A 数年に1件程度の返還で、区画使用率は98%を超えており、直近での区画の再整備募集等は考えていないが、今後空き区画が増える段階で検討する。

4 学校の運動部活動の地域移行について

Q スポーツ庁の計画は向こう3年間で休日の運動部活動の地域移行を図るとあるが。

A 現在6名の部活動補助員と土日や対外試合の引率も可能な4名の部活動指導員がいるが、これも地域移行の一環だと考えている。今後、指導のできる教員経験者を見つけていく。

Q 今後の競技大会の在り方は。

A 地域移行を見据え、全国中体連から地域のクラブチーム等も参加できるよう各地域の中体連に理解・協力を求めている。特に大会の引率・運営に関し、新たな対応が必要となってくるものも考えられる。



学校運動部活動

その他の質問

- 所有者不明土地の把握について
- みどりの食料システム戦略及び農業者支援について



岡村 浩雅 議員



Hiromasa Okamura

9 公共交通の課題と今後の方向性について

▶新たに地域公共交通計画の策定を進める

Q 温泉バスの路線バス化進捗状況は。

A 法改正により、道路運送法による市町村運営有償運送が廃止されたため、この手法が取れなくなった。今後、路線バス化を含めて新規の計画に定めていきたい。



Q 下野市では、AI(人工知能)を使った配車システムを導入した。本市でも導入したらどうか。

A 新たな地域公共交通計画に盛り込み進めていく。

Q 令和2年3月策定の「さくら市地域公共交通網形成計画」の課題解決にはどのように取り組んでいくのか。

A さらなる改革の推進のために、実情に応じた新たな計画が必要である。現在、地域公共交通計画の策定に着手をしている。

Q ※グリーンスローモビリティの導入や自動運転バス等検討してはどうか。

A 引続き調査研究を進める。

13 防災力強化のための取り組みについて

Q 来年度以降の市内河川への監視カメラ設置について。

A 河川監視体制を強化し、市民に対する情報配信の充実を図るため、本市独自の監視カメラ設置費用について新年度予算案に計上していく予定である。

Q 「気象防災アドバイザー」を本市でも活用したらどうか。

A 令和3年度からは気象予報士の有資格者を本市総務課危機管理係に配置した。

Q 来年度以降の避難訓練は。また、夜間の避難訓練を行う考えはあるか。

A 自主防災組織単位での訓練を進めていく。夜間の現実的な対応などについても、自主防災組織との一層の連携を図る。



防災リーダー向けフォローアップ研修

その他の質問 ●指定ごみ処理券(ごみ袋)について

※グリーンスローモビリティとは 低速の電気自動車を利用した公共交通サービス、その車両を含めた総称。



加藤 朋子 議員



Tomoko Kato

4 教育行政について

▶校則のガイドラインに沿って改正を検討していく

Q 生徒の意見を聞きながら校則の改正に取り組むべきと考えるが。

A 改正についてはガイドラインに沿いながら、生徒会と教員とで協議していく。

Q 休日の部活動指導の現状と対策は。

A 3年後を目標に、外部人材の拡充を図りながら、部活動の地域移行への準備を進める。

Q 重いランドセルの解消策は。

A いわゆる「置き勉」のように、なるべく持ち帰る学用品を最低限にするよう各教員が配慮することを周知徹底をしていく。またランドセル以外の軽量の鞆の使用も視野に協議していく。



3 子育て支援について

Q 保育現場での※加配について。

A 障害児等の加配の見直しについては調査研究を継続するとともに、補助制度も見直しを検討していく。

Q ヤングケアラーについて今後の対策は。

A 令和6年4月に「こども家庭センター」を設置し、ヤングケアラー本人と家族が必要とする支援をしていく。

Q ※インクルーシブ公園を設置しては。

A ※ユニバーサル遊具を含め、先進事例を調査研究していく。



ユニバーサル遊具@高根沢ファミリー公園

※加配とは 集団生活への参加が難しい障がい児や発達遅れが気になる子どもをサポートするために、通常の職員数に加えて担当者を配置すること。

※インクルーシブ公園とは 障害を持つ子どもも持たない子ども、言葉も通じない外国人の子ども、同じ目線で遊べるような様々な工夫をこらした公園。

※ユニバーサル遊具とは 身体能力の違いや年齢、性別、国籍に関わらず、すべての人が利用しやすいようにつくられた遊具。



角田 憲治 議員



Kenji Kakuta

16 公務員の守秘義務について

▶職員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない

Q 公務員及び退職者に守秘義務とはどんなものか。また違反時の罰則や調査体制について問う。

A 法律上、現職職員と退職職員は、「職務上知り得た秘密を漏らしてはならない」という全く同様の守秘義務が課されている。違反した場合には、1年以下の懲役または50万円以下の罰金が処されることとなっている。違反時の調査は、当該職員の属した自治体が行なう。

Q 組織の活性化において内部告発制度は極めて重要であるが、守秘義務との兼ね合いはどのように考えているか。

A 内部告発については、公益通報制度があり、告発者だけでなく告発内容の個人情報に係わる部分についても保護されるものと認識している。



さくら市役所本庁舎

3 さくら市議会議員選挙をふまえて

Q 国政選挙よりも投票率が下がった状況について、どう感じているか。投票所の増設や老人介護施設等を対象にした不在者投票の改善は検討できないか。

A 今回の投票率は過去最低を更新しており、危機感を抱いている。自宅近くの投票所で当日投票ができるような体制を維持していきたい。不在者投票については、条件を満たす施設に対して制度の説明を積極的に行っていく。



選挙のめいすいくん



加藤 誠一 議員



Seiichi Kato

11 市長の説明責任について

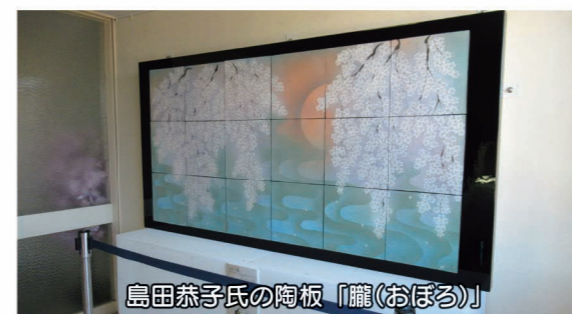
▶市政のあるべき大きな方向性を示すこと

Q シティープロモーション事業で島田恭子氏作の陶板「朧(おぼろ)」を購入する際、市長はいつ、どのように説明してきたのか。

A 「さくら市をブランディング」という概念の下、新たな取組みとして意欲的に展開をしているシティープロモーション事業の一環として購入をした。事業の説明については、予算計上時には、議会に対して全ての事業について説明することが望ましいが、主要な委託業務について説明をして、本件については、9月の議会において、一般質問の場で説明をした。

Q 購入にあたり「どういう効果を期待したのか」、「今どういう成果が上がっているのか」、「これからどう生かしていくのか」。

A 市の所有財産になり、瀧澤家住宅やその他の場所、また各地で開催されるイベントなど、移動展示をすることが可能。多くの方々に鑑賞してもらい、市の「桜」という認識を深めてシティープロモーションの有効なツールとする。



島田恭子氏の陶板「朧(おぼろ)」

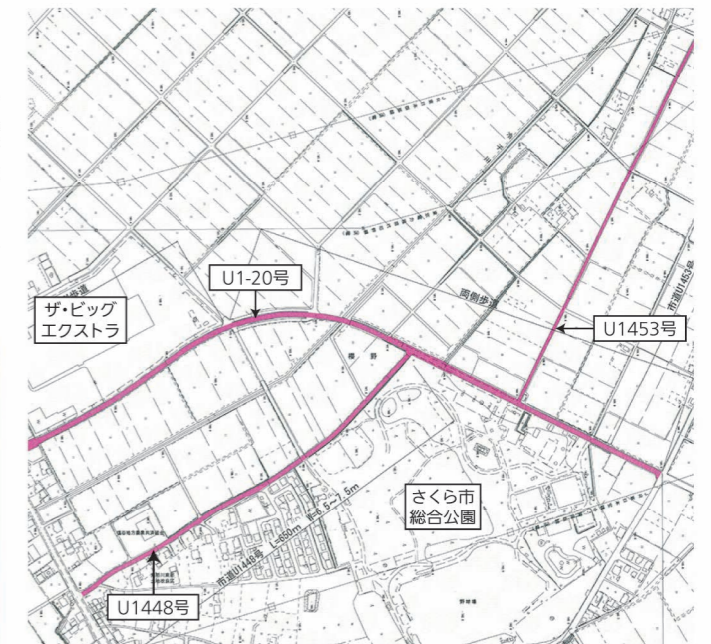
9 市道の整備について

Q 市道U1-20号のザ・ビッグエクストラからさくらスタジアム付近の歩道を整備する計画の現状と周辺道路も含めた整備計画は。

A 国道293号から総合公園北側交差点までの1,500メートル区間について、現在測量調査設計業務に取り組んでいる。令和5年度から用地交渉、令和6年度から3年間をめどに整備の完成を目指していく。

Q U1448号、U1453号の整備について。

A いずれも通学路として利用されているが、U1448号については過年度に安全対策に一部取り組んでいる。U1453号については幅員が狭く安全性の確保が必要と感じている。今後は道路照明を含め取り組んでいく。





若見 孝信 議員



Takanobu Wakami

11 総合公園にドッグランの整備

▶愛犬との暮らしを楽しめるまちを目指して取り組む

Q さくら市総合公園のドッグラン整備について市民から多くの要望がある。世代をこえたコミュニケーションツールとしても有用なドッグランの整備について、積極的に検討をすべきではないか。

A 近隣に住宅地があり、騒音やにおいの問題が生じる可能性がある。また幅広い年代のスポーツ利用者があることから、犬の散歩ができる場所は限定している。現在休止中の市民プールの最適化計画も鑑みながら、進めていきたい。



7 太陽光発電建設に関する市の関与について

Q さくら市でも太陽光発電建設が行なわれているが、景観を損ねているとの声も聞こえている。市として、規制・調和のために、何らかの関与をする考えはないか。

A 環境や景観等と太陽光発電施設の調和を図る条例制定に向け検討を進めており、12月5日の議員全員協議会で条例案を提示し、現在パブリックコメントを行っている。

Q ※FIT認定を受けていない太陽光発電についても、パネル廃棄のための積立等、市として何らかの関与が必要ではないか。

A FIT認定の有無に関わらず条例の対象として、維持管理計画の作成を義務化する。発電事業終了後の処分費用の確保についても当該計画に記載させる予定。



その他の質問
●今回のさくら市議会議員選挙の投票率について

※FITとは
再生可能エネルギーの固定価格買取制度。



Q 一票の重さについて

令和4年11月6日～13日の日程でさくら市議会議員選挙が執行されました。平成22年11月21日執行のさくら市議会議員選挙の投票率は62.18%、平成26年11月16日執行56.06%、平成30年11月18日執行51.06%、令和4年11月13日執行44.56%と、回を重ねるたびに投票率の低下が顕著になっています。今回は、有権者の皆さんが持つ「一票」について考えたいと思います。



Q 選挙とは
組織または集団において、投票などの手続きによって、代表者や役員などを決定し、公職に就任する者を選定する行為。

Q 投票とは
選挙や採決のとき、各人の意思表示のため、氏名や賛否を規定の用紙に記し、一定の場所に提出すること。

Q 得票数が同じ
選挙では、候補者の得票数が同数の場合、当選か落選を決めるのは、くじ引きです。地方議会の選挙では得票数が同数となる場合が度々あり、最近では、令和元年、神奈川県相模原市の市議会議員選挙で「くじ引き」により当選人が決まりました。たった一票では何も変わらないと考える人もいますが、あなたの一票が選挙結果を左右することもありますので、大切な「一票」を無駄にしないようにしましょう。

Q 投票率が低くても
投票率によって当選当落の結果は変わりません。投票率が低く、有権者の意思を反映されていないのでは考えたとしても、選挙のやり直しは出来ません。皆さんが持つ一票は、政治に参加できる機会であり、権利です。自分達の暮らしや意見・要望を反映する選挙にいきましょう。

議会だよりは市内公共施設で入手できます。
また、置いてくださるところを募集しています。



議会HPへ

● 議会レポート

全国市議会議長会研究フォーラム in 長野

10月19日～20日
 ・ 渋井 康男 議長
 ・ 大河原千晶 副議長

塩谷市町村議会議長会行政視察研修

10月26日～27日
 ・ 渋井 康男 議長

● 県市議会議長会議

10月28日
 ・ 渋井 康男 議長
 ・ 大河原千晶 副議長

● 県市議会議長会議員及び事務局職員研修会

10月28日
 ・ 渋井 康男 議長
 ・ 大河原千晶 副議長
 ・ 岡村 浩雅 議員
 ・ 福田 克之 議員
 ・ 加藤 朋子 議員
 ・ 矢澤 功 議員

● 県北五市議長会議

11月22日
 ・ 渋井 康男 議長
 ・ 大河原千晶 副議長

● 県央6市議長会議

12月21日
 ・ 福田 克之 議長

● 塩谷市町村議会議長会議

12月22日
 ・ 福田 克之 議長

● 議会の動き

10月

1日 いちご一会とちぎ国体総合開会式
 2日 第77回国民体育大会サッカー(成年男子)(～3日)
 4日 定期監査
 5日 議会広報委員会
 11日 定期監査
 12日 議会広報委員会
 那須烏山市議会文教福祉常任委員会視察来訪
 17日 議員全員協議会
 議会運営委員会
 第3回臨時会
 18日 議会広報委員会
 島根県安来市議会会派視察来訪
 19日 全国市議会議長会研究フォーラムin長野(～20日)
 21日 塩谷広域行政組合議会定例会
 25日 例月現金出納検査
 26日 塩谷市町村議会議長会行政視察研修(～27日)
 28日 栃木県市議会議長会議・研修会
 29日 いちご一会とちぎ大会スポーツウェルネス吹き矢

11月

10日 熊本県球磨郡町村議会議長会視察来訪
 15日 熊本県菊陽町議会産業建設常任委員会視察来訪
 22日 新任議員研修会
 県北五市議長会議

● 塩谷広域行政組合議会定例会

10月21日
 ・ 渋井 康男 議長
 ・ 永井 孝叔 議員
 ・ 石岡 祐二 議員
 ・ 鈴木 恒充 議員
 ・ 矢澤 功 議員

● 塩谷広域行政組合議会臨時会

11月24日
 ・ 渋井 康男 議長
 ・ 永井 孝叔 議員
 ・ 鈴木 恒充 議員
 ・ 矢澤 功 議員

● 監査

● 定期監査
 10月4・11日
 ・ 石岡 祐二 議員

● 例月現金出納検査

10月25日
 11月28日
 ・ 石岡 祐二 議員
 12月26日
 ・ 渋井 康男 議員

● 財政援助団体等監査

12月26日
 ・ 渋井 康男 議員

● 視察等来訪

10月12日
 那須烏山市議会文教福祉常任委員会の委員ほか7名が認定こども園きつれ川幼稚園について視察に訪れました。

10月18日

島根県安来市議会会派4名がバイオマス産業都市構想について視察に訪れました。



11月10日

熊本県球磨郡町村議会議長会の議長ほか9名が耕作放棄地を活用した再生可能エネルギーの利用促進について視察に訪れました。



11月15日

熊本県菊陽町議会産業建設常任委員会の委員ほか7名が「道の駅きつれがわ」の運営について視察に訪れました。



※任期がまたがるため当時の役職で掲載しています。

どうなったんべ あの質問は



自治会の課題について

議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

平成30年 第3回定例会
 令和元年 第3回定例会

現状は…

さくら市では、行政区加入世帯の高齢化や転入世帯の加入低迷等により、行政区加入率が徐々に低下している状況です。そのような中、さくら市では転入される市民へ行政区加入を呼びかけるチラシの配付や宅地分譲等を行う事業者へ行政区長への報告と、購入者へ行政区加入を促すよう依頼しているところです。また、各行政区で抱える役員の成り手不足や各種課題については、事務局を通じて情報を共有し、研修会や全国の先進事例について情報提供しているところです。

今後は…

75ある行政区(自治会)で構成されるさくら市区長会では、行政区加入世帯が各種サービスを受けられる「行政区(自治会)加入促進事業」を令和5年1月1日から実施いたしました。この事業は、行政区加入世帯に加入カード(さくらPASS)を配付し、事業に参加する店舗(施設)から、各種サービスが受けられるものとなっています。今後も行政区加入率向上を図っていきます。



さくらPASSパンフレット(表面)



さくらPASSパンフレット(裏面)

議会レポート・議会の動き

どうなったんべあの質問は

藍染を 愉しむ



茶房 風花

店主 塚田 美代子 (早乙女)

つかだ

みよこ

(早乙女)

藍で染めた
シルクストール

藍染の色は、「サムライブルー」と言われ目を惹く青は日本人の想いを象徴する色だそうです。声高に主張するわけではないのに生活のどの場面にも馴染み、そして独特の存在感を放つ。そんな藍染に魅せられ数年前に藍百姓の藍松こと松由拓広さんと出会い、さくら市穂積の藍畑で育てられた藍を使って素人ながら楽しんでいきます。

昨年の夏には「風花」で生葉での藍染を試し、澄み切った空のような美しい『浅葱色』に染まりました。

また、秋には布以外での藍染を試し、鬼灯のドライにした物を素材にしたところ、深みがありながらも可愛い小物細工に仕上がりました。藍染と聞くと高級品のようなイメージを持たれる方も多いと思いますが、江戸時代には庶民的な染物として広く使われていたようです。「生きた染料」と言われる藍。緑の葉から青に変わる感動を今年こそは、孫達に体験させたいです。また、春から夏、晩秋の藍畑は、絶景スポットです。

これからも藍染の魅力をさくら市民の皆様幅広く伝えるよう頑張りますので、さくら市議会でもご支援よろしくお願ひ致します。

あさぎいろ

ほおずき



鬼灯ドライ作品

結婚祝※1 	地域の運動会・スポーツ大会への 飲食物等の差入 	お祭りへの 寄附・差入
町内会の集會・旅行等の催物への 寸志・飲食物の差入 	みんなで徹底しよう 三ない運動 贈らない！ 求めない！ 受け取らない！ これらのものも、政治家の寄附禁止の対象となります。	落成式・開店祝等の 花輪
病氣見舞 	お慶喜・お年賀 	香典※2
入学祝・卒業祝 	葬儀の花輪・供花 	

※1 政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。

※2 議員の初盆での御香典や寄付は、公職選挙法により禁じられています。

お知らせ

次回 3月定例会予定 2月24日(金)~3月16日(木)

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

議会広報委員会



永井 孝叔 石岡 祐二 笹沼 昭司 若見 孝信 加藤 誠一

落合 千枝子 副委員長 大河原 千晶 委員長 高瀬 一徳 小堀 勇人

掲載写真は、撮影時のみマスクを外しております。

●議員年金について

平成23年6月1日をもって廃止されました。

●政務活動費について

さくら市議会は支給されておられません。